

科目名/提供大学名	これからの地域地方創生と経営／福井大学
科目名(英文)	Regional Innovation In The Fututure
対象学年	原則として、全学年。
開講時期	前期・金曜34限目(4/20, 5/18, 5/25, 6/8, 6/22, 7/20及びフィールドワーク活動(未定))
単位数	2単位
科目区分	選択(地域コア科目群:「持続可能な社会・環境づくり分野」)
授業形態・開講形態	開講、グループディスカッション、フィールドワーク
担当教員名	小島 慶藏
オフィスアワー	講義の前後に質問等を受け付けます。
教員メールアドレス	keizo.kojima.88888888@gmail.com
概要	地域社会を真の意味で豊かにするために地方創生における役割、付加価値資源、大自然と人的要因6次産業創出、発信、考え方、ヒト・モノ・オカネ循環創出、新規産業創出の必要性、持続可能な地域振興を国際的視野で理解を求めるもの。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	産・官・学(商社マン、市役所・産業振興監、総務省外部専門家人材)の3分野の実務経験者で、国際的ビジネスマンの立場で、地方創生の考え方、課題など、国際的視野で社会学、経営学的な考え方も含めて、総合人間科学として重要性、発想法、課題解決、持続発展拡大など具体的な基本的入門編の知識、理解、スキルなどを学び、習得を図るもの
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	コミュニケーション能力、社会職業的理解能力、問題解決能力、新規事業創出の発想法能力
学生の目標・到達目標	地方創生の現状、課題、重要性、考え方などを国際的な視野で基本的な理解を求めるもの
授業計画・授業内容	(授業内容・構成及び計画については変更があり得る) 第1回: 地方創生の現状、課題、あり方、考え方、歴史、文化、産業把握活用 第2回: グループ・ディスカッション 第3回: 地方創生における人的要因の解明、国、地方行政、大学、市民の役割と協働の重要性 第4回: グループ・ディスカッション 第5回: 地方創生における大自然、人的要因の解明、地域資源の付加価値資源について 第6回: グループ・ディスカッション 第7回: 地方創生における農村、漁村、中心市街地の課題、6次産業創出、観光振興について 第8回: グループ・ディスカッション 第9回: フィールドワーク 第10回: フィールドワーク 第11回: フィールドワーク 第12回: 持続発展可能な地方創生について 第13回: グループ・ディスカッション 第14回: 国際的視野での考え方、経営学的な発想の重要性について 第15回: グループ・ディスカッション
授業方法	総務省・地域力創造アドバイザーなど、国の外部人材専門家として10年以上、地域の現場で地域振興を行なった経験、および、総合商社マンの立場から、これからの地方創生について、経験、実績に基づいた具体的な活動内容、経験も含めて、地方創生の本質について実学の立場から成功事例集も含めて講義を進めていくもの
キーワード	①地方創生と国際戦略 ②大都会、海外から、ヒト、モノ、オカネ、夢を地域に循環を ③市民を主役に新事業創出 ④出口戦略の重要性 ⑤定量的な発想の重要性
教科書	適宜、資料等を配布する。
参考書	図書館で地方創生関連の書物を参考
評価方法・評価基準	受講態度やグループ討議及び課題提出状況などにより、講義内容についての理解度の深さ、柔軟な発想力、前向きで積極的な思考力を判断し、総合的に評価する。 原則、1/3以上の欠席は不合格。
関連科目	
履修の要件	各大学の要件に準じて対応
必要な事前・事後学習	授業時に予習、復習の内容について指示する。
その他・注意事項	講義の5分前に着席の事。 原則、無断欠席及び遅刻厳禁